

【特集】第35回国際労働問題シンポジウム： 船員の労働と物流：暮らしを支えるサプラ イチェーン：特集にあたって

FUJIWARA, Chisa / 藤原, 千沙

(出版者 / Publisher)

法政大学大原社会問題研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

大原社会問題研究所雑誌 / Journal of Ohara Institute for Social Research

(巻 / Volume)

774

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

2

(発行年 / Year)

2023-04

【特集】 第 35 回国際労働問題シンポジウム

船員の労働と物流

——暮らしを支えるサプライチェーン

特集にあたって

本特集は第 35 回国際労働問題シンポジウムの記録である。1987 年から毎年行っている本シンポジウムは、原則としてその年の ILO 総会の議題のなかから日本との関係でとくに重要な議題をテーマとして取り上げてきた。2022 年の第 110 回 ILO 総会は 5 月～6 月スイス・ジュネーブの会議とオンライン会議の組み合わせで開催され、8 つの議題が取り上げられた。本シンポジウムはそのうち第 8 議題「2006 年の海上の労働に関する条約の規範改正の承認」に関連する内容として、船員の労働と物流をテーマに企画したものである。

船員の労働への着目は古くて新しい。ILO は 1919 年第 1 回総会で労働時間問題を取り上げたのに続き、1920 年第 2 回総会において海上労働問題を取り上げた。産業革命以前の時代から、港から港へ、国から国へ、各地の特産品の交易が利益をもたらす経済を形づくってきたことを踏まえると、海上労働は、工業労働以前から存在していたことがわかる。モノの移動という交易の背景には船員として働く人間の移動があり、船員が各地で得た情報が世界をつないでいた時代もあった。だが港に行かなくても世界の情報が届くようになり、「舶来物」「舶来品」という言葉が使われなくなるほど輸入品にあふれた現代においては、ふだん私たちの暮らしが海上労働に支えられていることを意識することは少ない。だが、2019 年末からの新型コロナウイルス感染症の世界的拡大と 2022 年ロシアによるウクライナ侵攻は「物流危機」という形で海上労働の存在をあらためて世界中に知らしめた。

本シンポジウムは、今日あらためて世界的に着目された問題を踏まえつつも、私たちの暮らしを支えるサプライチェーンとして不可欠な海運業界の現状と船員の仕事を学ぶ機会として企画した。研究者の立場からのご講演と政労使の立場からのご講演のあとに ILO 本部からオンライン講演を予定していたが、ILO からの配信が叶わず講演資料のみの配布となった。当日の講演資料は、共催団体である ILO 駐日事務所がまとめた下記の記事より入手できるので参照されたい。

ILO 駐日事務所 Web サイト (https://www.ilo.org/tokyo/information/terminology/WCMS_860914/lang--ja/index.htm)、インフォメーション>トピック解説>船員の労働と物流～暮らしを支えるサプライチェーン～第 35 回国際労働問題シンポジウム会議を終えて

本シンポジウムは国連大学本部ビルの会場参加とオンライン参加の併用型で開催した。会場参加は 35 名、オンライン参加は事前申込み 160 名（当日接続端末 118 件）であった。ILO 駐日事務所には会場準備とオンライン配信をはじめ多大なご尽力をたまわり、日本 ILO 協議会のご後援も受けて充実したシンポジウムになった。すべての関係者にお礼を申し上げたい。

(藤原千沙)



International
Labour
Organization

OISR
SINCE 1919



法政大学
HOSEI UNIVERSITY

第35回 国際労働問題シンポジウム

船員の労働と物流

—暮らしを支えるサプライチェーン

主催：ILO駐日事務所／法政大学大原社会問題研究所 後援：日本ILO協議会

2022年

10月17日(月)

13時30分～16時15分

参加費無料
要参加申込み

オンライン参加
(Zoomウェビナー)

会場参加
(上限40人)

国連大学本部ビル
1階アネックススペース
(東京都渋谷区神宮前5-53-70)
「表参道」「渋谷」駅下車



貨物船「Y M Orchid」と
女性船員 Wang Chung-Haiさん



パームオイルを輸送する貨物船
"Kalimantan Palm"の船員たち



主催者挨拶

高崎 真一 (ILO駐日代表)

布川 日佐史 (法政大学大原社会問題研究所所長)

講演

海運業界・船員の仕事と私たちの暮らしは
どう結びついているのか

森 隆行 (流通科学大学名誉教授)

船員の仕事と海運について—使用者の立場から
越水 豊 (日本船主協会 常務理事)

船員の仕事と海運について—労働者の立場から
全日本海員組合 (予定)

船員として働くためのルールや権利について
—政府の立場から

浦野 靖弘 (国土交通省 海事局 船員政策課 国際業務調整官)

コロナ禍の船員交代危機の状況とILOなどによる
国際的な対応

秋山 伸一 (ILO本部 部門別政策局 次長) オンライン講演

パネルディスカッション

モデレーター 藤原 千沙 (法政大学大原社会問題研究所教授)

司会：榎 一江 (法政大学大原社会問題研究所教授)

参加申込み



オンライン参加

左コードのフォーマットよりお申込みください。
ZoomウェビナーのURLが自動返信されます。

会場参加 (10月14日(金) 正午締切)

右コードのフォーマットよりお申込みください。40人に達した時点で
登録を締め切りますので、申込みができた方は会場にお越しください。



ILO駐日事務所 ◆HP: <http://www.ilo.org/tokyo/> ◆Twitter: @ILO_Tokyo 法政大学大原社会問題研究所 ◆HP: <https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/> ◆Twitter: @oisr1919